

# 授業改善推進プラン

## 【都教育目標】

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

## 【市教育委員会教育目標】

子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指す。だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指す。

## 【学校の教育目標】

- ・正しく考え、進んで行動できる人。
- ・心とからだを鍛え、意志の強い人。
- ・芸術や科学を愛し、創造力の豊かな人。
- ・敬愛と協力を重んじ、責任を果たす人。

## 【地域・生徒の実態】

- ・各行事に積極的に取り組む生徒が多い。
- ・学習習慣の定着や、自ら考え主体的に行動する生徒の育成が期待される。
- ・学校・学級への関心や期待が高く協力的である。

## 【経営方針(学力向上に関すること)】

- ・一人一人が十分に学び、成長できる機会が与えられる学習環境を保证する。
- ・生徒が意欲を持ち、方法を習いつつ、真に学ぶ姿勢が身に付けられる学習指導をすすめる。
- ・生徒が自ら問題を見つめ、自らの力で解決する力を育てる。

### ○各教科の指導の重点

- ・学習内容を精選して、反復練習させ、基礎学力の定着を図る。
- ・具体的な体験を通して基礎的な知識・技能を習得させる。

### ○道徳教育の指導の重点

- ・教育活動全般を通して人権尊重の精神、規範意識・思いやりの育成などを図り、生きる力を伸ばす。

### ○総合的な学習の時間の指導の重点

- ・「生きる」というテーマのもと、通常学級や地域との交流を通して課題を設定し、協同的に取り組む態度を育てる。
- ・生徒自らが課題に気づき考える力を身につけさせ、発表の仕方などを学ばせ、生きる力を育てる。

## 【「確かな学力」の育成】

「確かな学力」を「生きる力」の知の側面として以下のようにとらえる。

「確かな学力」・・・

知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など

### ○特別活動の指導の重点

- ・行事などを通じ通常学級や他校との交流を深め、協力してよりよい生活を築こうとする実践的な態度を育てる。

### ○生活指導の重点

- ・自己の健康と安全に留意させ、基本的な生活習慣を育てる。
- ・学級の係活動を通して集団の中での役割を指導し、適切な人間関係の形成ができる力を育てる。

### ○進路指導の重点

- ・キャリア教育の観点から、勤労生産の意味を学び、働くことの意義と人との関わりについて理解させる。
- ・卒業後の進路は生徒の自己理解を図り、保護者とともに考えていく。

## 本学級の授業改善に向けた視点

### 指導内容・指導方法の工夫

- ・学習内容を精選し、反復を通して、基礎学力の定着を図る。
- ・具体的な体験を通して、基礎的・基本的な知識や技能を習得させる。
- ・一人一人の生徒の特性にあった指導方法を常に工夫していく。
- ・言葉の指導を重視し、事実に基づいて考える力を伸ばす。

### 教育課程編成上の工夫

- ・通常の学級に準じた時程を設定し授業時間を確保する。
- ・数学、国語では課題別のグループ指導を実施する。
- ・教科の系統性を重視し基礎・基本や学習の技能の習得を図る。
- ・個別指導計画を作成し、個に応じた系統的な指導を行う。

### 研究や研修の工夫・小学校との連携

- ・教員相互の授業参観を日常的に行い、授業力向上をテーマとする研修を行いチームとしての教育力を高める。
- ・小中合同研修会等を実施し、生徒理解・自立に向けた課題・指導法についての相互理解を深め、連携できる取り組みを考えていく。

### 評価活動の工夫

- ・保護者との面談を通して、個別的教育支援計画・個別指導計画を作成し、生徒の現状と課題を明らかにし、個に応じた評価を行う。
- ・生徒が学習をする上で励みや指針となるようなきめ細かい評価を行う。
- ・自己評価を取り入れ、生徒の自己肯定感を高める。

### 家庭や地域社会との連携

- ・保護者による常時参観を依頼し、保護者、地域と一体となった健全育成を目指す。
- ・授業公開や三者面談を定期的実施し、保護者、地域の意見を聞き、出来る限り教育活動に活かしていく。
- ・防災教育を地域・保護者・小学校一体となって進め、安全に対する意識を高める。